

金城町長は町民の声を どう反映するか

答 既に様々な所に出向いている



問 町長は就任挨拶で、町民の声を聞き、対話を大切にしたい町政を推進すると述べた。これをどう具体化するか。

金城町長 町民の声や地域実情を把握し町政に反映させる事が重要。自治会、各種団体、学校、民生児童委員会、子ども若者、子育て世代、高齢者、JAや生産者、事業者、その他、様々な声をきくために既に積極的に出向いている。

問 来年度から10年間の第6次総合計画に新町長の思いは十分に反映されるか。

総務部長 十分に反映させる。

問 この議会に送り出して頂いた私は常に町民目線で質問・意見・提案してきた。後を託せれば、民生児童委員になり、老人会等でも地域や町民の皆さんに恩返ししていきたい。

8年間見てきたが、役場幹部は組織を守る事に汲々とせず、職員がもっと大らかに明るく働ける環境づくりをしてもらいたい。

町長 職員がもっと元気よく大らかに働ける環境をつくりたい。

問 町長を補佐し、実務を仕切る新垣副町長はどうか。

副町長 町民の声を幅広く聞



岡崎 晋 議員

くのは大基本である。各職員が働きやすい職場環境づくりにも努める。

資源ごみ集団回収の 報償金を引上げよ

問 各家庭が協力し出してくれるものを地域の諸団体が収集分別し、活動資金をつくるこの集団回収は地域の連携を確実に高めるといふ大きな効果がある。この報償金予算と活動団体の推移はどうか。

住民環境課長 予算額は10年前99万円、5年前81万円、本年度は17万円。登録団体数は約80、活動したのは10年前43、

5年前23、昨年は14だった。

問 PTA等の団体が消滅していく中、この活動を活発化させるため10年間据置きの報償金を引上げてもらいたい。



青年会と少年野球が毎月交代で集団回収

副町長 古紙・アルミ缶1kg当り4円は相場。ごみ減量資源化が目的である報償金は上げない。集団回収活動が地域活性化の大きな有効手段という議員とは見解が違う。

4年間を振り返って

町政は行政と議会の双方で担う。私はこの4年間も一貫した町民目線を決して忘れなかった。